

平成 20 年度 JAXA 学校宇宙連詩への取り組みの報告
 連携機関（日本プラネタリウム協議会会員）からの報告

館名	福岡市立 少年科学文化会館	館長名	瀬戸 京一
学校所在地住所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴 2 丁目 5-27 http://www.city.fukuoka.lg.jp/shobun/		
目的	JAXA と協力して、宇宙連詩の編纂を希望する地域学校を支援する。		
目標	<p>具体的な活動目標（解決すべき課題等）を、箇条書き（ 、 、・・・ ）で紹介願います。</p> <p>活動目標 : 宇宙連詩の周知広報 活動目標 : 福岡雙葉小学校への支援（参加手続き等支援） 活動目標 : 福岡雙葉小学校への支援（実施支援）</p>		
具体的な取り組み内容			
時期	取組内容		
準備段階 10 月	<p>活動目標 への取り組み</p> <p>学校学級宇宙連詩について、福岡雙葉小学校が参加を希望しているとの情報があり、それをきっかけとして市内小中学校、および JAXA との連携を行うこと、宇宙連詩に係るチラシ・ポスター等の掲示による広報等も行うことと決定した。</p>		
導入段階 11 月	<p>活動目標 への取り組み</p> <p>参加校から JAXA 宛ての参加申込の支援を実施した。</p>		
実施段階 12、1 月	<p>活動目標 への取り組み</p> <p>参加校において行われた事前レクチャに参加した。宇宙の中の人間という存在について、また詩の心、連詩の作りかた、進め方等について、子供達と共に学ぶことができた。</p>		
完成段階	<p>活動目標 への取り組み</p> <p>連詩発表の場の提供などを今後検討していきたい。</p>		
社会との繋がり			
<p>宇宙連詩レクチャでは、地元メディア（西日本新聞）が取材し、レクチャの様子が報道された。</p> <p>http://www.nishinippon.co.jp/galileon/topics/047.shtml</p>			

平成 20 年度 JAXA 学校宇宙連詩への取り組みの報告
協力機関担当者からの報告

JAXA 学校宇宙連詩について

福岡市立少年科学文化会館
指導主事 津村道喜
学芸係 渡辺美穂

当館においては、関係各所との連携、とくに小中学校との連携に力を入れています。

市立の小学校とは「会館一日学習」での結びつきがありますが、私立の小中学校の間には特別な連携がなく、様々な手法を模索していました。

その中で「学校学級宇宙連詩」の存在について知ることとなり、また、福岡雙葉小学校のみなさんが参加を希望しているとの情報がありましたので、これを良い機会ととらえ、参加させていただくことになりました。

事前レクチャーも見学させていただきましたが、先生方や生徒さんたちの、非常に熱心でいきいきした姿に驚かされました。

完成した作品が国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に運ばれ地球のまわりを回る、というのは、大人にとっても魅力的なことです。募集・広報の際にはその点をしっかりアピールするのも良いかと思われま。